

## Case 6-2018

### A 35-Year-Old Woman with Headache, Subjective Fever, and Anemia

(*N Engl J Med.* 2018 Feb 22;378(8) 753-60)

#### [Assessment]

##### Problem List

##### #1 貧血

Hb 6.6, MCV 90, MCH 32.8 より正球性正色素性貧血。Crohn 病の活性化であれば、大腸からの栄養吸収障害による鉄欠乏性貧血や、巨赤芽球性貧血が考えられるが、血清中のフェリチン↑、鉄↑、TIBC→、葉酸・ビタミン B<sub>12</sub> 正常よりこれらは考えにくい。また消化管出血の可能性もあるが、血便も顕在化はしておらず、経過観察可能な消化管出血としては貧血の進行の急激過ぎる点が合わない。

Ret<0.5%より骨髓での造血が出来なくなるために貧血になっている可能性が高い。

##### #2 頭痛、疲労、熱感、筋肉痛などの感冒様症状

頭痛や疲労は貧血による症状とも考えるが、ウイルス感染などの可能性も考えられる。

##### #3 便潜血、下痢

便の正常および潜血陽性は Crohn 病の影響と考えるとよい。

##### #4 Crohn 病既往

8 日前に炎症性腸疾患マーカーが高値となっていることから、現在の活動性は高いものと考えられる。ベドリズマブは生物学的製剤であるものの、重篤な免疫不全を引き起こす可能性は低く、結核の再活性化のリスクなどは低い。

##### #5 不妊治療後

貧血は月経過多による影響もあるものと考えられる。

##### #6 息子への sick contact あり

3 歳の幼稚園に通う子が発熱と顔の紅斑というところ…

#### [Plan]

##### ●末梢血塗抹染色

→希薄赤血球 (サイズは正常であるが、中心部が蒼白) および散在する球状赤血球が見られた。分裂赤血球や網赤血球は見られなかった。白血球や血小板は正常であり、異常リンパ球の存在も確認されなかった。